

リーダーたちの本棚

Leader as Readers

L Jリーグを世界ブランドに

【率いる】
Leading

J3(3部リーグ)の新設、FIFAサッカーW杯ブラジル大会と、トピックの多い今年、チェアマンに就任した。Jリーグのクラブ経営やJリーガーの経験はない。ピッチに立ったのは10代の頃で、埼玉県立浦和高校サッカー部でゴールキーパーを務めた。会社員時代は人事畑でキャリアを積み、社長も経験。その手腕をJリーグで発揮していく。

「経営経験から実感したのは、自身の生業を心底好きでなければ、リーダーは務まらないということ。私はサッカー界での経験は乏しいですが、サッカーへの愛は誰よりもあると自負しています。全国のスタジアムを回り、サポーターの皆さんやクラブ関係者の情熱に触れるたび、その思いを確認しています。Jリーグの発展、スポーツを通じた地域振興、国際親善などに全身全霊で取り組んでいきます」

かつてはファンとして競技場に足を運んだ。そのファン目線が身上。「雨の当たる自由席、空調のきいたVIP席など、あらゆる観戦環境を体感し、それぞれの臨場感をアピールしたい。改善面も見つけていきたい」と意気込む。



日本プロサッカーリーグ
チェアマン

村井 満

1959年埼玉県生まれ。早稲田大学法学部卒。83年日本リクルートセンター(現リクルートホールディングス)に入社。本社執行役員兼リクルートエデュケーション(現リクルートエデュケーション)代表取締役社長を経て2011年RGF Hong Kong Limited(香港法人)社長(13年兼業後)、08~13年日本プロサッカーリーグ理事。14年1月から現職。

先達と対話し、魂を磨き込む

境界を越えたいという 思いの原動力は、電馬

私はかつてリクルートで人事や人材紹介会社の経営に携わり、50歳を過ぎてから志願して香港に赴任し、多国籍の従業員を抱える現地法人の社長を務めました。さかのぼって大学時代は、達成はできなかった。だが、中国大陸横断にチャレン

ジしました。外へと向かうという行動の原点といえるのが、高校1年の時に読んだ『電馬がゆく』です。なぜこの物語に魅せられるのか自分でも不思議でしたが、「境界を越える」ことへのあこがれがあったのだと、人生における折々の衝動から自覚するようになりました。電馬は、藩

を重ねて石油の商いを広げ、国内外の商売を既得権者に正々堂々と立ち向かい、戦後は本業以外の事業にも挑戦して雇用を守り、晩年は、大國による不当な石油支配に反発し、英米軍を向こうに回してイランからの石油輸送を成功させました。彼を突き動かしたのは、利益欲でも権利欲でもなく、「世のため、人のため」という強烈な社会的使命感です。『リーグは、地域においてサッカーを中心としたスポーツ文化を育む』『リーグ百年構想』を掲げています。出光氏のような気概をもって、この社会的な取り組みを推進していきたいと思えます。

リーグの国際化に向けて ヒントを得た一冊

越え、国の境を越えんとし、異なる立場同士が共有できる「船中八策」のような価値を見つけた。同胞の結束は、悪くすると排他的、差別的な行動の引き金になります。越境して心を開けば本質的な価値に行き着くことを、電馬から学びました。

「生くる」は、20代の頃に同僚を介してお会いして以来、心の師と仰ぐ執行役員村井さんの著書です。歴史、哲学、科学、芸術など、その知識量は膨大で、知識のみならず、深い思考と体験に根ざした確固たる人生観の持ち主です。人の心の機微や葛藤をあらわにし、それへの向き合い方を示す必要はない。自信がないから日々精進できる「作用反作用は自然の法則で、価値のある大きなことをしていれば、大きな反作用が壁のごとく出現するのは当然。壁が大きいほど生き甲斐もある」「読書の意義は、先達との魂の対話である」といった言葉を常々反芻しています。

「その考え方は、『世界標準』ですか? 失敗をチャンスに変えていく5つの力」(大和書房) 斎藤、ウィリアム・浩幸・著 米国で育ち10代で起業、ビル・ゲイツに数百億円で会社を売却。そんな著者の経歴とともに、母国日本で始めたことや、未来への提言をつづる。

「アルケミスト 夢を旅した少年」(角川文庫) パウロ・コエリョ・著 山川絳矢十山川麗希子・訳 宝物が隠されているという夢を信じてエジプトを目指した少年サンチャゴが、アルケミスト(錬金術師)の導きと様々な出会いの中で人生を学んでいく物語。

村井満さんのおすすめ本棚

『電馬がゆく』全8巻 (文春文庫) 司馬遼太郎・著

土佐の郷土の次男坊で浪人の身でありながら、薩長連合や大政奉還などに多大な貢献をした坂本龍馬の生涯と、同時代の志士たちの生き様を描く。

『生くる』 (講談社) 執行草舟・著

実業家、著述家、歌人である著者が、消費社会の人間の生き方に疑義を呈し、恩や歴史を尊び、生命を完全燃焼させる新しい「生き方論」を提唱する。

『海賊とよばれた男』上・下巻 (講談社) 百田尚樹・著

出光興産創業者・出光佐三をモデルにした国産製造の波瀾の生涯を描く。石油禁輸、戦争、「日章丸事件」など様々な困難を乗り越えた実業家の軌跡。

『その考え方は、『世界標準』ですか? 失敗をチャンスに変えていく5つの力』 (大和書房) 斎藤、ウィリアム・浩幸・著

米国で育ち10代で起業、ビル・ゲイツに数百億円で会社を売却。そんな著者の経歴とともに、母国日本で始めたことや、未来への提言をつづる。

『アルケミスト 夢を旅した少年』 (角川文庫) パウロ・コエリョ・著 山川絳矢十山川麗希子・訳

宝物が隠されているという夢を信じてエジプトを目指した少年サンチャゴが、アルケミスト(錬金術師)の導きと様々な出会いの中で人生を学んでいく物語。

「三つのフェアプレー」を徹底

就任に際し、三つの指針を掲げた。第一に、ピッチ上のフェアプレー。第二に、ファイナンシャル・フェアプレー(赤字を出さない、健全経営を心がける)。第三に、ソーシャル・フェアプレー(八百長、暴力、差別のないサッカーを徹底する)。さらに、監督や選手には、「審判の笛が鳴るまで全力でプレー」「フリーキックやコーナーキックなどのリスタートを早く」「選手交代は速やかに」という三つのお願いをした。

「リード時の時間稼ぎなどを駆引きの一つと見る向きもありますが、日本サッカーはフェアプレーを極めてほしい。武道に象徴されるように、正々堂々と戦う精神は日本人に宿るDNA。持ち味を伸ばすことが強みとなるはず」

村井さんにはアジア展開の先導役も期待されている。アジアに進出する日本企業によるスポンサー支援、アジアからの観戦客誘致など、ビジネスの広がりも考えられるからだ。アジアのクラブと提携するJクラブも増えている。

「Jリーグが世界ブランドの地位を確立し、国を超えて人と人の心をつなぐ媒介となるように努めていきたい」

国内試合の入場者数をいかに増やしていくかも課題だ。「国民調査で『サッカーに関心がある』と答えた人は約3割。少なくとも悲観せず、残り7割をファンが増える余地として捉えたい。とくに地方には可能性があります。小さな町に毎週のように数千人を集められるイベントはサッカー以外にないと思えます。地元産業と連携して町の活性化に寄与し、ファン層の拡大を目指していきたいですね」

全方向を見渡す現在の職務は、ピッチ全体を見渡し戦略を遂行するゴールキーパーのポジションに共通すると言う。

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、村井満さんが語るリーダー論を紹介しています。
<http://adv.asahi.com>
朝日新聞 広告 検索



三笠書房 千代田区飯田橋3-3-1 <http://www.mikasashobo.co.jp>

「男は一生、好きなことをやれ!」
里中李生
40万部突破のベストセラーシリーズ最新刊!

仕事、夢、お金、遊び、女……男は何を求め続けるべきか? 人生にどんな状況にあっても、あなた自身、「好きなこと」を追求しなければならぬ。なぜなら、あなたの才能や能力を磨く源泉はその好きなことの中にあるからだ。そして人生を面白く生きる秘訣も、必ず「好きなこと」の中にある。――著者

25万部突破! 心配事の9割は起こらない
實業家 榎野俊明 減らす、手放す、忘れる「禅の教え」
ISBN978-4-8379-2508-8 定価(本体1200円+税)

「美しい女性になる」
「秘訣の方程式」
「体の糖化を防いで太らない、疲れにくい心もスッキリ!」
加藤諦三 読むだけでうつつに効く本

「軽いうつ病D氏の日常生活」
早稲田大学名誉教授 加藤諦三 読むだけでうつつに効く本

「美しくなりたければ 食べなさい」
「体の糖化を防いで太らない、疲れにくい心もスッキリ!」
ISBN978-4-8379-2535-5 定価(本体1250円+税)

好評既刊
「考える力をつける本」
本・エッセイの読み方から情報整理、発想の技術まで
轡田隆史

白取春彦氏推薦!! (ベストセラー) 超訳「二つの言葉」著者

「考える力をつける本」
「頭と心を刺激する知的実用書」
「わからないを前提として出発しよう」
「わからなくなったらさかさまにものを見る」
「歴史の中にある無数の伝記を読む」
「素直に感動し、素直に疑問を抱く大切さ」
「考える力を鈍らせる四つの症状」

100万部突破のベストセラーシリーズ
「考える力をつける本」
勉強法、議論の作法から歴史の使い方、人生の楽しみ方まで

轡田隆史
ISBN978-4-8379-2508-8